

第159回神奈川県臨床外科医学会集談会 プログラム

日時：令和5年9月30日（土）午後2時00分～

場所：神奈川県総合医療会館7階講堂

（横浜市中区富士見町3-1 TEL045-241-7000）

開会の辞 当番世話人 厚木市立病院 副院長 渡部通章 （14:00-14:05）

レジデントプレゼンテーション（発表4分 質疑応答2分）

セッション1（14:05-14:35）

座長：東海大学医学部付属病院 消化器外科 茅野 新

1. S状結腸脂肪腫上に発症した早期S状結腸癌の1例

昭和大学藤が丘病院 消化器・一般外科

○阿部恒太郎（あべ こうたろう）、梅本岳宏、中村明弘、鈴木香緒里、中村哲也、柴田栞里、喜島一博、原田芳邦、木川岳、松尾憲一、田中邦哉

2. 高度貧血、消化管出血を認めたvon Recklinghausen病に合併した小腸腫瘍の1例

東名厚木病院 外科

○椿野瑞希（つばきの みずき）、田澤賢一、山野格寿、櫻井太郎、神山光希、高坂佳宏

3. 小腸原発Goblet cell adenocarcinomaによる腸閉塞に対して腹腔鏡下小腸部分切除術を施行した一例

横須賀市立市民病院 外科¹⁾、同 病理診断科²⁾

○山本晃成（やまもと あきしげ）¹⁾、堀 達彦¹⁾、中山岳龍¹⁾、藤原大樹¹⁾、杉浦浩朗¹⁾、長嶺弘太郎¹⁾、竹川義則²⁾、関戸 仁¹⁾

4. 直腸癌術後の側方骨盤壁局所再発に対してVMAT放射線照射後にR0切除をした一例

大船中央病院 消化器外科

○高橋 良（たかはし りょう）、里吉哲太、長田俊一、安倍 仁、枝川広志

5. 尿路感染症合併の膀胱憩室脱出を認めた非還納性膀胱ヘルニアの一例

大船中央病院 外科

○松崎裕宜（まつさき ゆうき）、枝川広志、里吉哲太、安部 仁、真船健一¹⁾、長田俊一

6. 上腸間膜動脈塞栓症に対してIVR治療により大量腸管切除を回避し得た1例

東海大学医学部 消化器外科

○磯野 駆（いその かける）、小笠原利仁、益子太郎、増岡義人、永 滋教、高橋進一郎、森 正樹、山本聖一郎、小柳和夫、中郡聡夫

レジデントプレゼンテーション

セッション2（14:41-15:17）

座長：聖マリアンナ医科大学病院 呼吸器外科 宮澤知行

7. 胆嚢癌を合併した先天性胆道拡張症の1例

厚木市立病院 外科

○小見山晴頌（こみやま はるのぶ）、兼平 卓、谷合智彦、杉村莉乃、佐々木茂真、北澤征三、平本悠樹、平野 純、渡部通章

8. 肝嚢胞腺癌との鑑別に苦慮した嚢胞内血腫の一切除例

伊勢原協同病院 外科

○富田俊介(とみた しゅんすけ)、鈴木将平、阿部紘大、氣賀澤悠、柏木浩暢、西岡道人、壁島康郎

9. 卵巣癌の異時性孤立性脾転移に対して腹腔鏡下脾摘術を施行した1例

済生会横浜市南部病院 外科¹⁾、同 産婦人科²⁾、同 病理診断科・病理部³⁾

○赤尾侑哉¹⁾(あかお ゆうや)、村上 崇¹⁾、大倉 拓¹⁾、水谷百代¹⁾、坂口祐介¹⁾、深田玲於奈¹⁾、窪田硫富人¹⁾、杉山敦彦¹⁾、木下颯花¹⁾、神谷真梨子¹⁾、三宅益代¹⁾、本庄優衣¹⁾、中園真聡¹⁾、吉田達也¹⁾、土田知史¹⁾、上田倫夫¹⁾、長谷川誠司¹⁾、遠藤方哉²⁾、村上あゆみ³⁾、虫明寛行¹⁾

10. バリウム腹膜炎に対して術後ステロイド療法が有効だった1例

川崎市立川崎病院 外科

○平松知紗(ひらまつ ちさ)、三原規奨、神人 悠、女屋 悠、中間麻矢子、菊池直哉、雨宮隆介、菊池弘人、小倉正治、和多田晋、萬谷京子、市東昌也

11. G-CSF産生性重複癌の1剖検例

日本鋼管病院 外科¹⁾、同 病理診断科²⁾

○青木大祐¹⁾(あおき だいすけ)、清水壮一¹⁾、小桐雅世¹⁾、八田浩平¹⁾、黒田純子¹⁾、正津晶子¹⁾、相浦浩一¹⁾、入江理恵²⁾

12. 幼少期より気管支喘息と診断され加療されていた先天性食道気管支瘻の一例

聖マリアンナ医科大学病院 呼吸器外科

○山口智則(やまぐち ともりの)、宮澤知行、大坪莞爾、畠山高享、酒井寛貴、木村祐之、本間崇浩、丸島秀樹、小島宏司、佐治 久

— 休 憩 —

要望演題「こんな時どうする？」(発表5分 質疑応答・討論5分)

※通常の発表形式で行い、質疑応答・討論で会場からご意見を募ります。

セッション1 (15:30-16:00)

座長：日本医科大学武蔵小杉病院 消化器外科 水谷 聡

1. 膵頭十二指腸切除後の難治性胃皮膚瘻に対する治療経験

横浜市立大学附属病院 消化器外科

○豊田純哉(とよだ じゅんや)、三宅謙太郎、油座 築、菊地祐太郎、藪下泰宏、澤田 雄、本間祐樹、松山隆生、遠藤 格

2. 発熱で発見されたSPN

川崎市立井田病院 外科

○大儀夏子(おおぎ なつこ)、藤村知賢、有澤淑人、掛札敏裕

3. 虫垂炎を契機に発見された十二指腸原発神経内分泌腫瘍、肝転移の1例

日本医科大学武蔵小杉病院 消化器外科¹⁾、日本医科大学付属病院 消化器外科²⁾

○梁井由香子¹⁾(やない ゆかこ)、関口久美子¹⁾、横田峻¹⁾、中村優圭¹⁾、助川 誠¹⁾、山際 亮¹⁾、清水貴夫¹⁾、三島圭介¹⁾、和田由大¹⁾、高田英志¹⁾、水谷 聡¹⁾、吉岡正人¹⁾、太田 竜¹⁾、松谷 毅¹⁾、谷合信彦¹⁾、吉田 寛²⁾

要望演題「こんな時どうする？」（発表5分 質疑応答・討論5分）

セッション2（16：00－16：40）

座長：川崎市立川崎病院 一般・消化器外科（大腸・肛門外科） 菊池弘人

4. 皮下膿瘍を形成したde Garengeot herniaに対し二期的に腹腔鏡下根治手術を行った1例
国立病院機構 相模原病院 外科
○鶴丸裕司（つるまる ゆうじ）、旗手和彦、下形将央、桑野紘治、大越悠史、坂本友見子、森谷 宏光、金澤秀紀
5. 術後小腸閉塞の治療に難渋し再手術となった一例
新百合ヶ丘総合病院 消化器外科
○山岸大祐（やまぎしだいすけ）、菅野 宏、金井秀樹、小林徹也、田辺義明
6. ロボット支援下直腸手術で出血時の対応 こんな時どうする？
昭和大学藤が丘病院 消化器・一般外科
○梅本岳宏（うめもと たかひろ）、中村明弘、鈴木香緒里、柴田栞里、喜島一博、原田芳邦、木川 岳、松尾憲一、田中邦哉
7. 完全内臓逆位を伴う上行結腸癌に対してロボット支援下結腸右半切除を施行した1例
横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター外科¹⁾、
横浜市立大学医学部 消化器・腫瘍外科²⁾
○小倉巧也¹⁾（おぐら たくや）、渡邊 純¹⁾、川島 淳¹⁾、船津屋拓人¹⁾、諏訪雄亮¹⁾、沼田正勝¹⁾、熊本宜文¹⁾、佐藤 勉¹⁾、武田和永¹⁾、國崎主税¹⁾、遠藤 格²⁾

— 休 憩 —

特別講演（16：50－17：50）

座長：厚木市立病院 副院長 渡部通章

『肝疾患に対する外科治療のさらなる発展を目指して』

講師 東京慈恵会医科大学外科学講座 肝胆膵外科分野

教授 池上 徹 先生

レジデントプレゼンテーション 表彰（17：50－18：00）

閉会の辞 厚木市立病院 副院長 渡部通章（18：00－18：05）